

年頭のごあいさつ



辛丑
坂城町長 山村弘

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

今年の干支は、辛丑(かのとうし・しんちゅう)です。「辛」は、つらさや厳しさ、また、枯れた草木が新しくなるうとすることを意味し、「丑」は、始めるや掴む、また、種子から新しい芽が出ようとする状態を表していることから、多くの困難を乗り越えることとより大きな希望が芽生える年、いわば「捲土重来(けんんどちょうらい)」の年であります。

昨年来、感染が拡大している新型コロナウイルスにつきましては、感染防止の徹底や3密の回避など、町

民の皆様の適切な行動に対し、改めて感謝を申し上げます。

町といたしましても、感染拡大の防止に加えて、町民の皆様の暮らしや生活を守るため、経営安定特別資金の創設や子育て世帯への給付支援、学校休業中のオンライン授業の実施など、町独自の経済対策や子育て世代、子どもたちへの支援に取り組んだところでです。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の収束には長期にわたる対応が考えられるため、町民の皆様には、引き続きのご協力をお願いするとともに、今後、国や県と連携して、新型コロナウイルスに影響を受けた町民の皆様への暮らしや地域経済に対し、きめ細やかな支援に取り組んでまいります。

さて、昨年長期に渡った安倍政権から、新たに菅政権が誕生しました。現下の新型コロナウイルス危機を克服し、雇用と暮らしを守るとともに、誰もが安心して暮らせる社会保障制度の構築や少子化への対応、地方創生、防災減災の推進に引き続き期待したいと考えております。

一方、世界に目を向けますと、次期アメリカ大統領に民主党バイデン氏の就任が濃厚となり、トランプ政権下での「米国第一主義」から「国際協

調重視」への転換が予想されており、また、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大による、ユーロ圏をはじめとした経済活動の不確実性の影響によって、国際情勢の先行きは不透明感を増している状況にあります。

このような中、町では、人口減少・少子高齢化、社会保障費の増大、社会インフラの老朽化、情報化社会の進行など、町を取り巻く時代の潮流を踏まえ、今後10か年の町政運営の基本となり、まちづくり全般の最上位計画となる「第6次長期総合計画」をはじめ、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」や「公共施設個別施設計画」など各種計画の策定を行ってまいります。いずれの計画も町民の皆様からのアンケート結果やご意見を計画に反映し、各団体の代表者による審議会委員の皆様や長野大学の先生方とともに、誰もが住みよく暮らしやすいまちづくりに向けた計画策定を進めてまいります。

今後の主な施策といたしましては、国道18号バイパス、坂城インター線延伸整備を見据えた道路・交通網の整備や新たな工業団地の造成・稼働による工業分野の更なる強化を進めてまいります。

また、保健・福祉・子育てサービスの充実とともに、出産から子育てまで

にわたる切れ目のない支援、GIGAスクール構想の実現によるICT教育環境の充実など、子育て世代、未来を担う子どもたちなどへの様々な支援に取り組んでまいります。

このほかにも、自然災害などに備え、町全体の省エネルギーの推進や情報通信技術を活用した防災・減災体制を確立することにより、自然と調和した災害に強い安心安全なまちづくりなどにも取り組んでいきたいと考えております。

また、これらの施策を含め、人口減少対策や地域経済の活性化に向けて、幅広い分野でデジタル技術を活用したスマートな(賢い)まちづくりと、SDGs(持続可能な開発目標)の達成を意識する中で、将来に渡って持続可能な誰一人取り残さない社会の実現を目指し、各種施策に取り組んでまいります。

今般のコロナ禍における、新しい生活様式の推進をはじめ様々な分野でのチャレンジを通じて、皆様とともに、明るく元氣な坂城町を創るべく努力してまいります。

町民の皆様におかれましても、健康には十分留意いただき、本年が良き年となりますようお祈りし、新年のごあいさつとさせていただきます。

令和3年 2021 迎春



坂城町議会議長
西沢悦子

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

世界中で猛威を振るう新型コロナウイルスウィルス感染症の収束の兆しも見えぬまま、新年を迎えました。新しい生活様式を受け入れつつも、早くコロナ前の日常に戻りたいと願う気持ちでいっぱいです。

昨年4月の緊急事態宣言発出後、人の動きが止まり、社会経済活動もストップするというかつてない経験をしました。そして産業界では、多くの事業所が経営の危機にさらされるという事態にいたりしました。町では、国・県の支援策と合わせ対応しているところですが、さらに有効な対策が望まれます。

一斉臨時休業から始まった学校生活、小中学生の皆さんにとって学習や体験活動全てが思うようにできない毎日であったと思います。そんな皆さんの学校生活を支えるため、町では、インターネット学習を進めるための体制整備を図る等の対応を急ぎました。そして先生方はもちろん、地域ボランティアの方々等、大勢の皆さんにご協力いただきました。そのような中で、特別な一年を送った小中学生の皆さんにとって、この経験が将来に向かっての大きな力になる事を願っています。

議会では、非常時こそ議会の役割を果たすべきとの考えにたち、議員自らの感染予防対策、本会議・委員会の運営方法、議場におけるマスク着用や換気対策、また、傍聴される皆様への対応等の感染予防対策を講じながら議会活動を行ってまいりました。

さらに、2019年の台風19号に被災した経験を踏まえ、昨年8月に坂城町議会業務継続計画を策定いたしました。この計画は、大規模災害などの非常事態発生時に、迅速で適切な初動体制をはじめとした災害対応について、必要な事項を定めることにより、議会機能の早期回復と災害被害の拡大防止を図ることを目的としたものです。

今後は、実効性を高めるため、この計画の内容を検証していくとともに、定期的に防災訓練を実施していきたくと考えております。

新年度から新たに、町政運営の基本構想を定めた「第6次長期総合計画」による新しいまちづくりが始まります。

また、同時に国土利用計画、坂城町まち・ひと・しごと創生総合戦略、公共施設個別施設計画、障害者計画など多くの計画がスタートします。皆様のご理解とご協力をいただきながら、持続可能な住みよいまちづくりをめざします。

国に対しては、自然災害の被害を最小限にとどめ、迅速に回復させる国土強靭化を進めるために「防災・減災・国土強靭化に向けた社会資本整備の促進」を強く要望していきます。

昨年7月に計画した「これからの坂城町を語る」議会報告会は、感染拡大防止のために開催が叶いませんでしたが、環境が整い次第、開催したいと考えております。

議会報編集委員会では、昨年4月から6月にかけて「坂城町議会だより」アンケートを実施し、111名の皆様から回答をいただきました。ご

指摘やアイデアなど親しみやすい議会報作りの参考にさせていただいております。

また、議会に対するご意見も多数いただきました。議員それぞれの議員活動に活かしてまいります。

世界では、民主主義を土台から破壊するような出来事が起きました。アメリカ大統領選挙とその後の国内を二分する混乱の状況です。

また、香港政府による民主派議員4名の議員資格剥奪は、民意を代表する議会としての存在意義が失われてしまいました。民主主義について、改めて考えるきっかけになりました。

欧米メーカーで開発された新型コロナウイルスウィルス感染症のワクチン接種が英国を皮切りに始まりました。国内での準備も「改正予防接種法」が成立し急ピッチで進められています。感染拡大防止に向けて、大きな一歩になればと思います。

厳しい年明けとなりましたが、皆様とともに乗り越え、普通に生活できる日常を取り戻したいと願っております。

皆様のご多幸とご健康を祈念し、新年のごあいさつとします。